

# CAT<sup>®</sup> CLUB

2023

NO.

119



お客様見聞録 >> *File 20* 株式会社土井総業

「除雪の美学」を追求し、  
雪国の暮らしを守る。

CAT<sup>®</sup>

# Team Caterpillar

Parts & Service Sales Representative



千葉正剛は、札幌南営業所に勤務する部品サービスセールス。出身地・室蘭市の工業高校を2002年に卒業後、キャタピラーに入社し、ショップメカニック、フィールドメカニックとしてキャリアを積み、2021年から現職を務めている。「20年以上ずっと同じエリアのお客様を担当してきたので職種が変わってもやっていることはほとんど変わらずメカニックの延長線上で部品サービスの仕事も始めた感じです。今も手が空いている日中は担当エリアを車で巡回してお客様からS.O.Sの連絡が入ったときはすぐに行動できるようにしています」会社から見たときにそれが部サ※として正しいことなのかはわかりませんが自由にやらせてもらっています、と千葉は笑いながら語る。

私は部品サービスセールスとして、市役所や鉱山関係をはじめとする札幌市内の幅広いお客様を担当しています。出荷前の車両整備や特殊改造を担当するショップメカニックからスタートし、入社4年目からフィールドメカニックのキャリアを積んで現職に就きました。

肩書きが変わっても「自分の役割」として意識していることはメカニック時代とまったく変わりません。「お客様の仕事を止めないようにすること」。まず日常から機械の点検整備、予防保全を徹底して突発的な故障を防ぐこと。それでも機械が止まってしまった場合にはダウンタイムを最短時間にとどめる最善策を考えて実行に移すことです。

フィールドメカニック時代にあるお客様から「今日からウチの担当は千葉さんだから。とにかく現場を止めないことだけを考えて動いて欲しい」と指名を受け、費用の判断も含めて車両管理の一切を任せられたことが、そうした意識を持つきっかけになりました。

「これは他のメーカーにはできない、キャタピラーにしか頼めないことだから」と

いう期待の言葉にも会社の看板を背負うような責任とやりがいを感じました。

機械と向き合うのがメカニックの役目だとすれば、部サ※はお客様に寄り添って仕事を支えるポジションだと考えています。お客様から声が掛からなくても定期的に現場へ通い、メカニックの視点で機械を診て故障が起こる前に修理や部品交換のアドバイスを行う。中長期的な目線でお客様の仕事を見据え、工事や除雪の休閑期を使った修繕計画を提案したり、機械の状態と使用年数によっては買い替えという選択肢を提示して判断を仰ぐケースもあります。

今、目標にしているのは、お客様と一緒に理想を突き詰めた機械を作り上げていくことです。最初から完璧な製品をお届けすることはできませんが、新車を納めた後に、オペレータさんの意見や好みを聞きながら改善やカスタムを一つひとつ重ねていき、「これがベストだ」とお互い満足できる機械に仕上げたいと思っています。部サ※という職種の枠を超えて、どんなことでも気軽に相談してもらえる存在を目指したいですね。

※ 部品サービスセールス

「お客様の現場を止めないためには  
どうすべきかを考え、行動しています」



日本キャタピラー  
札幌南営業所

千葉 正剛  
Masatake Chiba

LET'S DO THE WORK.™

# From the WORLD



Austria

2,000m級、3,000m級の山々が連なる

アルプス山脈に囲まれたオーストリア・チロル地方。

その都市キュータイで、2026年の完成に向け、巨大ダム建設が進行している。

推定10億ユーロの費用、標高2,200mという立地、3,300万m<sup>3</sup>の貯水量。

すべてに破格のスケールを誇るこのプロジェクトは、キャタピラーの可能性を示すショーケースになる。



## 欧州の頂に 巨大ダムを造れ

でも使われており、耐寒性能が実証されている」  
— そうした点が評価につながった。

最終的に、このプロジェクトで使用された機械は工事後Zeppelin社に返却され、推定稼働時間9,000時間の中古車として再販する契約が交わされた。

工事には大型のCatマシン16台が必要であり、ブラジル、中国、フランス、インドネシア、米国の工場に発注された。

「機械を予定の期日までに現場へ届けるために、私たちはすべての工程を細かく管理し、Batam<sup>※1</sup>やDecatur<sup>※2</sup>のスタッフと密に連絡を取り合いました。1日2回、キャタピラーの物流チームと話し合いを重ね、欧州への最短ルートと輸送船の運航スケジュールを確認しました」

Simonは「途中、思わぬアクシデントに見舞われたが、運も味方してくれた」と語る。

「6015B油圧ショベル2台を載せた輸送船がスエズ運河を通過したところで何週間も立ち往生する事態に遭遇したにも関わらず、幸いなことに代替機をスピーディに調達することができました。もともとSteinExpolに出展予定だったCat 352クローラショベルが、コロナ禍で出展が中止になったため、新車のまま現場の近くに保管されていたのです」

一方、米国から運ばれてきた機械も、テキサス州で過去30年以上経験したことのないような未曾有の嵐に見舞われた。

オーストリアに到着した後も、これだけ大型

の機械をトラックに載せて山を登れるかどうかという問題があった。現場へ通じる2本の道路はどちらもトンネルを通過する必要があったため、Simonは地元の自治体に確認を取り、適切なサイズのトラックを手配した。標高2,000mを超える現場に到着したマシンは、大型機械のエキスパートであるZeppelin社のサービスマンたちによって組み立てられ、改造が加えられた。

2台のD8Tブルドーザには、3.9m幅のセミユニバーサルブレードとXLアンダーキャレレッジを取り付け、1台には3本シャック、もう1台には1本シャックのリアリッパを装着した。140 AWDモータグレーダには幅広ブレードを装備。7台の777Gには特殊なハルドックスチール製のベッセル、2台の6015Bにはモノブロック・ヘビーデューティブームを採用した。さらに、すべてのダンプトラックにデジタルLEDの重量計と、山間部でもデータ通信が可能な無線アンテナを設置した。

多数の大型機械が稼働する現場では燃料補給も問題となる。タンク容量が1,700ℓもあるため、通常の給油法では時間が掛かりすぎて作業に大幅な遅れが生じてしまう。ダンプトラックだけをみて給油に7時間掛かると見積もられた。そこで、F1の高速給油技術を導入し、わずか数分で給油できるようにした。

「多くの困難に直面しましたが、一つひとつ乗り越え、工事は順調に進行しています。私はアルプスが大好きです。ここには、まさに息を呑むような光景が広がっています。このプロジェクトに参加することは、とても特別なことです」(Simon)

1980年代にキュータイ1号ダムの建設に携わったCat®ディーラーのZeppelin社は、標高2,000mを超えるこの都市にダムを築くことがいかに過酷で困難であるかを熟知していた。大型製品のシニアプロダクトマネージャーであるSimon Husemannは、同社が2号ダムの建設を受注するに至った理由を次のように述べる。「このプロジェクトは、膨大な予算を投じたものであり、建設も長期に及ぶため、入札プロセスには多くの顧客が関わっていました。当社は幸い、長年にわたって欧州各国の大規模プロジェクトに参画してきた実績があり、見積りを迅速にまとめることができました。また、さまざまな現場での経験から得た専門知識も、顧客に安心感を与える材料になりました」

キャタピラーの機械は「南米のアンデス山脈で稼働実績があり、高地でも問題なく使用することができる」「ロシア鉱山の極寒の作業環境下

山間部を駆け抜ける777Gオフハイウェイトラック



アルプスの山で稼働する超大型クラスのCat 6015B油圧ショベル

※1 インドネシア・ジャカルタにあるキャタピラーの工場。主に鉱山砕石用の製品(6015Bも含む)と部品を生産。  
※2 米国・イリノイにあるキャタピラーの工場。主に大型ホイールローダ、採掘用トラック、モータグレーダなどを生産。

キャタピラーのさまざまなコンテンツをご覧いただけるカスタマーストーリーはこちら。





写真右上：インタビューに答えてくださった土井義博様。終始にこやかでしたが、除雪や建機に対しては熱いこだわりをお持ちでした。  
写真下：毎日社長と一緒に出勤する愛犬のサブちゃん。



株式会社土井総業

代表者：土井 義博  
 本社所在地：北海道空知郡南幌町南11線西6番地  
 設立：2004年  
 従業員数：40名  
 事業内容：とび・土工工事業、建築工事業、土木工事業、解体業、除雪全般など  
 URL：https://doisougyou.jp

お客様  
見聞録

File 20

株式会社土井総業



## 「除雪の美学」を追求し、雪国の暮らしを守る。

土井総業様は、北海道空知郡南幌町そらち なんぼろちょうに本社を構える土木建設会社。春から秋にかけては農業土木を中心に幅広い公共工事を手掛け、冬季は道路や市街地の除雪を請け負って、地元の産業と暮らしを支えています。今回は、雪の南幌町を訪ね、社長の土井義博様にお話を伺うとともに社員の皆さんと連日除雪に活躍するCat®ホイールローダをご紹介します。

### 仕事にプライドを、機械に愛情を。

南幌町は、石狩平野の中央に位置する農業の町。北海道の経済の中心地である札幌市、北の玄関口である千歳市から共に車で約50分という立地を生かし、「きらら」「なまつぼし」「ゆめびりか」といったブランド米や名産の「なんぼろキャベツ」などの豊富な農作物を消費地へ供給しています。春から秋にかけては晴天の過ごしやすい気候が続きますが、11月の中旬頃に初雪を迎えると、3月まで田園は一面の銀世界に包まれます。

土井社長がこの地で起業されたのは2004年のこと。地元の建設会社に就職し、現場オペレータとして15年以上キャリアを積み上げていましたが、同社の解散を機に独立。一人親方として「土井総業」の看板を掲げられました。日本キャタピラー札幌南営業所とは創業当初からの付き合いだと語られます。「会社を立ち上げたばかりで資金に余裕のない私に快く機械をレンタルしてくれました。今の会社を築くことができたのはキャタピ

ラーのおかげだと言っても過言ではありません。発注元からも『キャタピラーと直接付き合いがある』ということで信頼を得ることができました。20年の間には山もあれば谷もありましたが、どんな時もそばに寄り添って当社を支え続けてくれました」

土井総業様は、農業土木と除雪を両輪とした地域密着型の経営で施工実績を重ね、現在は40名の社員を抱える企業に成長。ホイールローダ、油圧ショベル、ブルドーザまで、ほぼオールキャタピラーで35台を超える機械を保有されています。土井社長が現場で機械に乗ることはなくなったと言いますが、今でも購入する機種や仕様の選択は人任せにせずご自身で決められるそうです。「オペレータ時代から除雪に関しては私なりの美学を持っており、きれいな仕上がりを追求してきました。マルチプラウのエッジも9mm厚の刃を使えば長持ちして経済的ですが、当社は仕上がりを優先して6mm厚の薄いものを使用しています。たかが3mm、されど3mm。いい仕事にこだわるのであれば、仕事道具にもこだわるべきだというのが私の考えです。キャタピラーの製品を選び続ける理由もそこにあります。他社機ではエンジンパワー



分厚い積雪を見る見るきれいに排除していくCat 930Mホイールローダ。



深夜からの作業を終えて帰途に就く除雪部隊。



無線で配置の指揮を執る田中統括部長。

を全開にしないとできない作業が、Catマシンなら8割ぐらいのパワーで余裕を持ってこなせる。パーツの一つひとつまで造りがしっかりしているから、丈夫で壊れにくい。17年前に購入したホイールローダも、キャタピラーのメカニックさんと当社のオペレータと一緒に手入れして大切に乗り続けています。そろそろ下取りに出してもいいだろうと言われますが、苦楽を共にしてきた古い機械は愛着が湧いてしまって手放せません」

丁寧できれいな仕事をすることにプライドを持ち、仕事道具である機械にこだわりと愛情を注ぐ。土井社長がオペレータ時代から実践してきたプロフェッショナリズムは、現場で作業に従事するオペレータの皆さんにも浸透しています。

「除雪した後の街中を車で走ると、当社が担当した区域はきれいだなと感じますね。社員には元の会社と一緒に働いていた仲間も多く、仕上げ方に一人ひとり特徴やクセが出るので、雪の寄せ方やタイヤ跡などを見れば、誰が作業したか大体わかります」

### 熟練の技を身に付けた

#### 除雪のエキスパート。

土井総業様の除雪部隊が出勤するのは、深夜1時を回った頃。部隊の指揮官を務める田中統括部長が毎晩0時頃から町内をパトロール車で巡回し、降雪量や各所の積雪の状況に応じて各オペレータの配置を采配。20台近いCatホイールローダがそれぞれの持ち場に向けて散開していきます。土井総業様の担当区域は、南幌町の幹線道路や生活道路をはじめ、市街各所の駐車場や団地の出入り口など100カ所余り。土木建設業者6社で町内全域の除

雪を分担していますが、土井総業様はその4割を担っていることから地元自治体の厚い信頼を得ていることがわかります。

一般的な土木工事とは異なり、除雪は毎日が時間との戦い。朝7時には始まる通勤や通学の妨げにならないよう、オペレータには迅速な作業が要求されます。また、雪に食い込んで見えないブレードをミリ単位の精度でコントロールし、地面ギリギリまで雪を平らにかきとる高度なスキルと集中力も必要になります。「除雪は経験の積み重ねが必要な仕事です。深夜の極寒の中で何年、何十年も作業を続けることで肌感覚として得ることができるものがある。当社にはそうした熟練の技を身に付けたベテランオペレータが揃っていますから、他社に負けない自信があります」

インタビューを終えて土井社長にご案内いただいた三重湖公園キャンプ場の駐車場では930Mが稼働していました。歴代のCatホイールローダの中でも社長が「名車」と称える938Gと同様、生産性、省エネ性能、オペレーションの快適性を一段と向上させた最新鋭の小型機です。

胸の高さぐらいまで厚く降り積もった雪を削り取るように押し出しては左右へ寄せていきます。一見、単純な作業のようですが、よく見るとマルチブレードを微妙にコントロールしていることがわかります。オペレータの姉崎隆治様は、除雪作業に20年以上携わっていらっしゃるベテラン。これまで何台ものホイールローダを乗り継いできましたが、930Mは「これまで乗っていた924Hと比べてもけん引力が段違いにパワフルですね。車両の安定感も良くなっていて、凍結した路上でもスリップの心配をすることなく作業に専念できます。エンジン音もかなり静かになったなと感じます」

と話してくださいました。

930Mがキビキビと除雪をこなしていく様子を満げに眺めながら「いい機械を供給してくれるだけでなく、キャタピラーはサポートやアフターケアがしっかりしている点も魅力です」と土井社長は語られます。「深夜の除雪中にマシントラブルが発生してもメカニックがすぐに駆け付けて対応してくれるので心強いし、定期メンテナンスの際にも各部をくまなく点検してパーツの交換時期などをアドバイスしてくれます」

一方、オペレータの皆さんには「キャタピラーのメカニックが機械を診に来てくれた時にはなるべく付き添って、ちょっとした修理や整備は自分でできるようになりなさい」と伝えているそうです。

### 地元への感謝を忘れずに できる仕事を精一杯やっていく。

「いま仕事があることに感謝しながら、これからも社員と共に南幌町の農業や生活を支えるお手伝いを続けていきたい。『地元之恩返ししたい』とか、そんな大層なことを考えて会社を始めたわけではありませんが、少しは役に立っているのかなと思うとやりがいを感じます」

「品質第一」をモットーに丁寧な仕事を続けたいとお考えの土井社長にとって、除雪の担い手不足は大きな悩みの種になっています。「除雪は重労働です。連日連夜出勤が続く繁忙期には社員達の疲労がはっきりと目に見えて心配になります。オペレータを増員し



除雪部隊の皆さんとCatホイールローダ。手前から2人目(マスクを着けた方)が、Cat 930Mの撮影にご協力いただいた姉崎隆治様。1番手前は938Gを乗りこなし、会社を発展させた土井雅義様。

てゆっくり休めるシフトを組めれば良いのですが、新しい人材の採用は年々難しくなっています」

土井社長は、日頃から採用活動に力を注ぐ一方で、ICT化によるオペレータの負担軽減にも目を向けられています。「農業土木については3年前からICT対応のマシンを導入しており、オペレータからも作業が楽になったという声を聞いています。現在、国土交通省北海道開発局によって除雪現場にi-Constructionを導入する取り組みが進められていますが、普及にはしばらく時間が掛かるでしょう。キャタピラーから『これぞ!』というシステムやアイデアをご提案いただければ、前向きに検討したいと思っています」

土井総業様には現在、油圧ショベル5台、除雪用ホイールローダ3台計8台の新車のご注文をいただいております。年内に納車予定です。



## キャタピラーファイナンス 特別金利プログラムのご紹介

5年割賦までは金利1.5% (製品により最大で1.95%)となる「特別金利プログラム」や、月々のお支払いを抑えられるリース料金で機械をご使用いただき、リース期間満了時にそのままご購入もできる「オペレーティングリース」をご用意しています。さらに、ファイナンス契約に延長保証、メンテナンスを組み合わせることにより手間なく、毎月定額で大きな安心をお届けする「安心パッケージ」もご提供しております。お客様の資金計画や事業プランに合わせて、ぜひご利用ください。

### 特別プログラム 低金利でお得! 5年割賦まで金利1.5% (小型製品 5年割賦まで1.95%)

油圧ショベル、ホイールローダ、ブルドーザ、ミニ油圧ショベルなどの新車購入に際して特別な低金利プログラムをご利用いただけます。

下取りや頭金があればさらに有利な金利になるかも!



中・大型製品

油圧ショベル、ホイールローダ、ブルドーザ、モータグレーダなど

5年 割賦まで

金利 1.5%

小型製品

ミニ油圧ショベル、小型ブルドーザ、小型ホイールローダなど

5年 割賦まで

金利 1.95%



◎このほかにも、お客様の現場をサポートする各種ファイナンスプログラムをご用意しています。プログラムのご利用条件など詳細につきましては、販売店の営業担当者、またはキャタピラーファイナンスまでお問い合わせください。

## Good Support! Good Work!



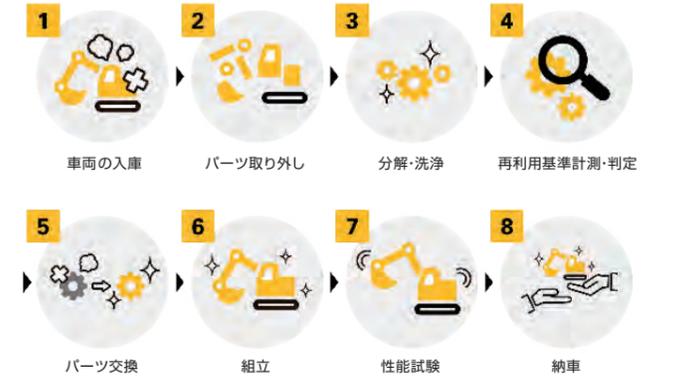
## Cat® 認定リビルド — 機械寿命をリセットしませんか?

「Cat認定リビルド」は、適切なタイミングで主要コンポーネントを再生し、耐用期間をリセットすることで、より長期にわたる機械の使用を可能にするソリューションです。キャタピラーの各コンポーネントは、乗り慣れた車両を継続してお使いいただくために複数回再生できるように設計・製造されています。経験豊富なメカニックがキャタピラー独自の基準に基づいて再生修理を行うことでコンポーネントの性能を新品同様に復元。新車購入サイクルを延長し、設備投資額の大幅低減をサポートします。オプションとして最大5年間の延長保証を付けることができ、キャタピラーファイナンスのご利用による分割払い(最大36回まで)にも対応。サービスの提供開始から35年以上、すでに25,000件以上の実績を有し、全世界のお客様から高い評価と信頼を集めています。



### リビルドの工程

- 1 キャタピラーが定める要綱に基づいてコンポーネントを分解、摩耗部品を計測・判定し、再利用可能であればそのまま利用。キャタピラーの基準を満たしていない場合は純正の新品部品に交換します。
- 2 設計上重要なアップデートがある場合は、該当する部品を交換します。
- 3 キャタピラーが定める洗浄度基準と性能基準に従って、組立、性能試験を実施し、新品同様の性能に復元します。



### リビルドのメリット

#### 1 コスト低減

新車購入サイクルを延長  
設備投資額を大幅に低減

#### 2 生産性向上

新しい機能を追加することで  
より使いやすい車両に



#### 3 Cat品質

純正部品を使用  
キャタピラー独自の基準で再生修理

#### 4 サステナブル

約65%の部品を再利用  
持続可能な社会への貢献

### オプションサービスも利用可能

#### 1 テクノロジアップグレード

リビルドに合わせて、改良された部品があればそれもすべて反映。さらにオプションで新しいテクノロジーへのアップグレードが可能で、作業効率や生産性、安全性の向上を実現することができます。

#### 2 ディーラサポート

最大5年間の延長保証(EPP)を付与することができ、キャタピラーファイナンスのご利用による分割払いも可能です。

Cat認定リビルドの詳細はこちら。



# 最新テクノロジーを搭載して登場 次世代大型油圧ショベル Cat® 352



	固定式下部走行帯 (FG)	拡幅式下部走行帯 (VG)
運転質量	48,500kg	51,600kg
バケット容量	1.90m <sup>3</sup>	2.10m <sup>3</sup>
定格出力/回転数	330kW/1,700 <sup>min</sup> <sup>-1</sup>	

建設現場だけでなく、砕石や鉱山などの現場で稼働するための仕様をご用意。お客様のニーズに確かな信頼で応えます。

## ■ 高生産性 & 高耐久性を実現

※当社従来機(352F)比

- エンジン馬力4%向上
- 油圧馬力10%向上
- カウンタウエイト9%増量  
従来の1.9-2.1m<sup>3</sup>バケットだけでなく2.41-2.69m<sup>3</sup>バケットも装着可能に

エンジン & 油圧のパワーアップと安定性の向上により、最大9%の生産性向上を実現。さらに、エンジン回転数に応じて最適なタービン出力が得られるVTG可変容量ターボチャージャーを採用することで、従来機よりも低いエンジン回転数で最大馬力を得られるようになり、低燃費と高生産性を両立します。

## ■ 優れた安全性、運転コスト低減を追求

●**安全性**  
車両後方と右側をサポートするカメラを標準装備。さらに、油圧ショベル周辺の障害物や作業者を1つの画面で確認できる360°ビューシステム(オプション)へのアップグレードも可能です。

●**メンテナンス性**  
メンテナンス間隔の延長やメンテナンス作業のさらなる容易化に加え、燃料フィルタの交換間隔も延長(従来の500時間から1,000時間へ)。運転コストとメンテナンス負担の低減を実現しています。



## ■ Cat Connect テクノロジーを標準装備

●**Catペイロード計量システム**  
作業時の持ち上げ旋回中に、ブーム・アームを停止させることなく積荷の重さを正確に計測可能。過積載や過少積載の予防に貢献し、砕石現場での原石の生産性を管理することができます。データはキャブ内のモニターからUSBにダウンロード可能なため、生産性の「見える化」に役立ちます。



●**E-フェンス機能**  
設定した角度に近づくと旋回の動きを自動停止し、接触や衝突のリスクを低減。フロント作業機の作業範囲を制限する機能も備えており、現場で安全に作業が行えます。

●**旋回アシスト**  
設定角度で旋回を自動的に停止するため、旋回の往復を繰り返す積込作業が楽に行えます。停止前に自動減速し、荷こぼれも防止します。

●**プロダクトリンク/VisionLink® (ビジョンリンク)**  
車両の位置や状態を把握して適切な機械管理が行え、燃料消費量・アイドルリング時間の分析によるコスト削減が可能です。ペイロードの積載データ管理もプロダクトリンクで行えます。



## 小型移動式クレーンの運転資格

作業現場が工場や倉庫内に固定されている製造業とは異なり、建設業は一般的に屋外での工事が多く、現場の移動も必要になります。このため、ビルなどの建設に用いられるタワークレーンを除き、多くの場合、車両タイプの移動式クレーンが使用されます。今回は、「小型移動式クレーン運転技能講習」の資格で運転可能な移動式クレーンに絞ってご紹介しますので、作業に就く前に自分が扱えるクレーンかどうかしっかり確認しましょう。

移動式クレーンは、労働安全衛生法施行令で「原動機を内蔵し、かつ、不特定の場所に移動させることができるクレーン」と定義されています。鉄筋や木材といった重量物の揚げ降ろしや運搬が容易に行えるため、建設業でもさまざまな現場で利用されていますが、不安全な設置による転倒、周囲の電線への接触による感電などの事故の発生件数も多くなっています。移動式クレーンの運転資格は、吊り上げ荷重(クレーンの能力)5t以上と5t未満で区別されています。

資格の種類	移動式クレーンの吊り上げ荷重(クレーン能力)	
	5t以上の場合	5t未満の場合
移動式クレーン運転士免許	○	○
小型移動式クレーン運転技能講習	×	○

「小型移動式クレーン運転技能講習」の資格で運転できる移動式クレーンは大きく分けると以下の3タイプになります



小型移動式クレーン運転技能講習修了後に運転可能な移動式クレーン ◎すべて吊り上げ荷重(能力)5t未満に限ります。

トラッククレーン	ラフテレーンクレーン	クローラクレーン
<p>トラックシャーシの上にクレーン装置を架装したもの。</p> <p>①トラック運転室とクレーン運転室があるもの。</p> <p>②運転室と荷台の間にクレーン装置を装備したもの。</p>	<p>タイヤで支えられたフレームの上にクレーン装置を装着し、1つの運転室で走行とクレーン操作が可能なもの。</p>	<p>クローラ式の台車の上にクレーン装置を装着したもの。左下のタイプはカニクレーンとも呼ばれています。</p>

## 小型移動式クレーン運転技能講習について

キャタピラー教習所では、上記移動式クレーンの運転に必要な「小型移動式クレーン運転技能講習」の資格を取得できます。講習では、運転従事者として必要な知識や適切な運転方法を、学科と実技を通じて学ぶことができます。詳しくは、お近くのキャタピラー教習所までお問い合わせください。

講習時間	講習日数	受講要件
20時間	3日	どなたでも受講できます
16時間	3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>●クレーン、デリック(旧クレーン運転士免許、旧デリック運転士免許含む)、揚貨装置いずれか1つの運転士免許を保有している方 ※免許証が必要となります</li> <li>●玉掛け技能講習を修了している方 ※技能講習修了証が必要となります</li> <li>●床上操作式クレーン運転技能講習を修了している方 ※技能講習修了証が必要となります</li> </ul>

技能講習・安全教育のご用命はこちらまで /  
キャタピラー教習所株式会社

本社：〒253-0111 神奈川県高座郡寒川町一之宮7-11-1  
TEL 0467-73-1221 FAX 0467-73-1211  
ホームページアドレス <http://cot.jpncat.com>

詳細は  
キャタピラー教習所

検索





# 「快適職場づくり」の話

従業員は毎日、生活時間のおよそ3分の1を職場で過ごしています。職場はいわば生活の場ともいえるでしょう。その環境を改善することは、仕事の能率や質を向上させるだけでなく労働災害や健康障害の防止にも良い効果をもたらします。今回は、快適で明るく、魅力ある職場づくりを進めるための手順やポイントについて紹介していきます。



平成4年5月に労働安全衛生法が改正され、快適職場づくりが事業者の努力義務とされました。快適職場づくりを推進することは、従業員の過度な疲労やストレスを軽減させ、心身のバランスを良好に保ち、体調不良に起因する作業事故を減らすことにつながります。

男性にも女性にも働きやすい職場環境をつくるために、従業員全体の意見や要望を聞いて、職場の現状をしっかりと把握し、取り組み目標を定めた上で計画的に改善を進めていきましょう。

## 働きやすい職場環境とは

- 暑すぎたり、寒すぎたりせず、適度な温度である
- 清潔に保たれ、照明も十分に明るい
- 作業方法などを含む作業現場の環境が整備されている
- みんなが快適に使える洗面所や更衣室、休憩室などが設置されている



快適職場づくりを進めるに当たっては、右の4つのステップを循環させながら改善への取り組みを継続することが重要です。皆さんの職場でも、まずは下のワンポイントに挙げたチェック項目を参考に全従業員へのヒアリングやアンケートを行い、快適職場づくりをスタートしましょう。

## ■ 快適職場づくりの進め方

### STEP 1 改善リストを作成する

全社員に意見のヒアリングや無記名アンケートを行い、作業所長や職長が職場環境の改善リストを作成します。その内容によって職場環境の改善に向けた具体的な取り組みを選定していきます。

### STEP 2 改善計画を立てる

作成した改善リストをもとに、影響度やリスクの高さを評価し、優先度の高い改善策を決定します。すぐに取り組めるもの、長期間にわたるものに分けて実施計画を立て、関係する現場と共に改善活動のスケジュールを策定します。

### STEP 3 改善活動を実施する

STEP2で立てた計画やスケジュールに沿って、具体的な改善を進めていきます。

#### 温度に関する事例

- 休憩所や作業場所など空調のない場所に スポット・クーラなどを設置した
- 作業現場で使う建設機械をエアコン仕様にした

#### 照明に関する事例

- 事務所や作業場所が暗かったので、自然光を取り入れる工夫をして、さらに蛍光灯を明るいものに交換した



### STEP 4 改善活動の評価を行う

改善活動を実施した後、再度全社員に意見のヒアリングや無記名アンケートを行って取り組みを評価し、次の改善へとつなげていきます。

## 今日のワンポイント

### 職場の改善ポイントを調べてみよう。



最高評価を「10」、最低評価を「1」とする10段階評価でチェックしてみましょう

## ヒアリング(アンケート)のチェック項目

1. 基本的点検事項  
整理・整頓、清掃・清潔、安全衛生対策
2. 作業環境  
空気環境、温熱条件、視環境、音環境、作業空間等
3. 作業方法  
不良姿勢作業、重筋作業、高温作業等、緊張作業等、機械操作等
4. 疲労回復支援施設  
休憩室(リフレッシュルーム等)、シャワー室等の洗身施設、相談室等、環境整備(運動施設・緑地等)
5. 職場生活支援施設  
洗面所・更衣室等、食堂等、給湯設備・談話室等



## TOPICS

よくぞ フェスティバル

# YOXO FESTIVAL 2023

## ～横浜でみらい体験～

# 次世代ミニ油圧ショベル Cat® 303 CR/305 CR



横浜に本社を置くキャタピラージャパンは、2023年1月27日(金)～28日(土)に開催された企業やイノベーターによる「未来」をテーマにした「YOXO FESTIVAL 2023 ～横浜でみらい体験～」に出展。

桜木町駅前広場の出展ブースに次世代ミニ油圧ショベルCat 303 CR/305 CRの2台を展示したほか、実機の運転席に座って記念撮影したり、おもちゃのショベルでボールすくいが楽しめるコーナーを設け、2日間でお子様連れのご家族など1,000人以上の皆様にお立ち寄りいただきました。



次世代ミニ油圧ショベルCat 303 CR/305 CR



順番を待つ長蛇の列



記念撮影やゲームが楽しめるコーナーはお子様に大人気でした

## PRESENT ご愛読者プレゼント

「CAT CLUB No.119」のご意見、ご感想をお寄せください。抽選で3名様にCatグッズをプレゼントいたします。

### 次世代油圧ショベル320 1/50スケールモデル 3名様

ご当選者には、セールスマンが賞品を直接お届けいたします。当選結果に関するお問い合わせ等にはお答えできませんのであらかじめご了承ください。



※お届けの賞品が見本と異なる場合がございます。

〈応募要領〉  
必要事項を記載いただき、下記メールアドレスにご応募ください。

- お名前 ■ ご住所 ■ 連絡先のお電話番号
- 会社名 ■ 「CAT CLUB」へのご意見・ご感想

〈応募締切〉  
2023年5月26日(金)

〈応募先アドレス〉  
cat-club-japan@cat.com



ご提供いただきました個人情報は、当社の個人情報保護方針に基づき、今後の商品開発・販売促進などに利用させていただきます。当社の個人情報保護方針は、当社ホームページからご覧いただけます。

<https://www.caterpillar.com/ja/legal-notices/dataprivacy.html>

## LINEスタンプ発売中!



[スタンプ詳細はこちら]

キャタピラージャパン  
公式LINEアカウント



友だち募集中  
[ID] @caterpillar



# 次世代油圧ショベル308 CR用 Cat® チルトローテータシステム TRS8

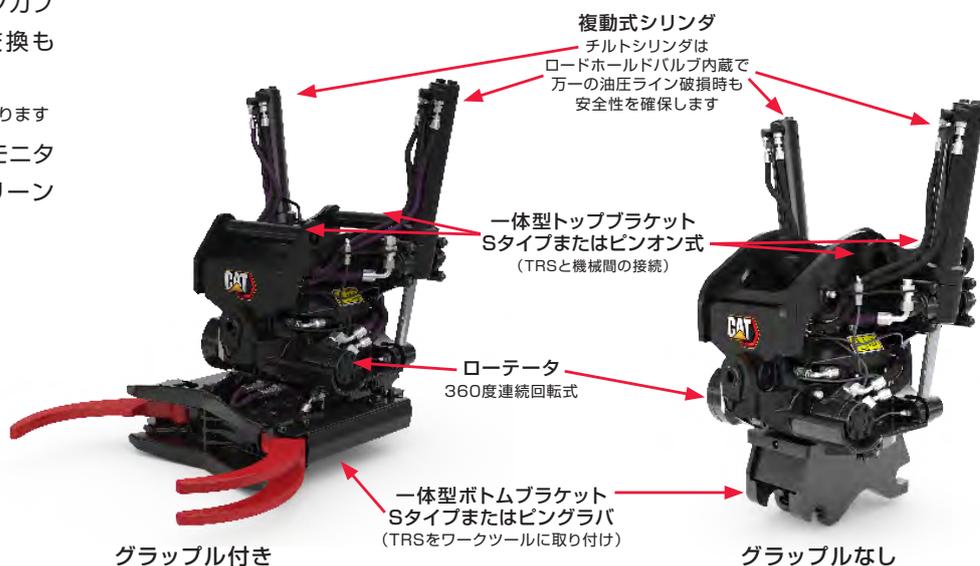
左右40度のチルトと360度旋回を可能にすることで、  
車両の向きや傾きにかかわらず、施工面とバケットの角度を合わせ、  
法面整形、床掘り作業などを効率良く行うことが可能になります。

※2D/3Dマシンコントロール、マシンガイダンスには対応していません。

## ■ TRS8の主な特長

- チルトローテータ下部はクイックカブラのため、アタッチメントの交換も素早く安全  
※装着できるアタッチメントには制限があります
- 各種情報の確認や設定が、専用モニタの追加なしに車載タッチスクリーンモニタで可能

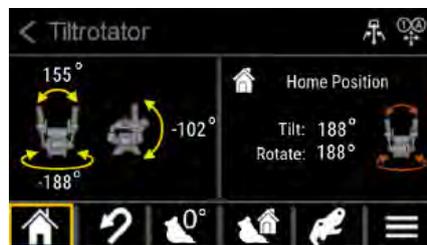
## グラップル付き/なしを選択可能



## ニーズに合わせて3つのモデルをご用意



## 車載タッチスクリーンモニタ



チルト、ローテート、カールのポジションを1つの画面上に表示

キャタピラー [http://www.cat.com/ja\\_JP/](http://www.cat.com/ja_JP/)

CAT CLUB編集室 〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1  
TEL.045-682-3424

CAT CLUBメールアドレス [cat-club-japan@cat.com](mailto:cat-club-japan@cat.com)

©2023 Caterpillar. All Rights Reserved. CAT, CATERPILLAR, LET'S DO THE WORK, それらの各ロゴ, "Caterpillar Corporate Yellow", "Power Edge", およびCat "Modern Hex"のトレードドレスは、本書に記載されている企業および製品の識別情報と同様に、Caterpillar社の商標であり、許可なく使用することはできません。記述の内容と仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真には、海外仕様の製品およびオプション装備品が含まれていることがあり、国内仕様と異なる場合があります。

CC-119-0(0323)



この印刷物は、環境にやさしい植物油インキを使用し、水なし印刷を採用しています。  
用紙には適切に管理された森林で生産された木材を原料に含むFSC®認証用紙を使用しています。